エコアクション21
環境活動レポート

2020　年度

レポート対象期間
（2020年5月 1 日　～　2021年 4 月 30 日）

エコアクション21認証・登録範囲　産業廃棄物収集運搬業・中間処分業・建設業

株式会社　リサーク

発行日　2021 年　6月　10日

1. 環境活動レポート 目次

項 目 及 び 内 容	ページ
表 紙 (認証・登録範囲、レポート対象期間及び発行日)	
1. 環境活動レポート 目次	1
2. 組織の概要 ① 事業の概要	2
② 廃棄物処理業に関する情報公開項目	3-6
③ 実施体制	7
3. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化	8
4. 環境方針	9
① フロン回収業務への取り組み	10
② SDGsへの取り組み	11
5. 環境目標 ① 中期目標	12
② 短期目標	13
6. 環境活動計画 ① 主要な活動計画	14
② 2020年度環境活動計画表	15
7. 環境目標(短期)の実績評価 ① 実績・評価 産廃事業部・総務部	16
② 実績・評価 工事事業部	17
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容 ① 2020年度環境活動計画実施状況確認表	18
② 問題点の是正及び予防処置の結果	19
③ 2021年度環境活動計画表	20
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟の有無	21-22
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	23
11. 地域貢献奉仕活動の記録	24
12. グリーン購入推進	25

2. 組 織 の 概 要

2-① 事業の概要

【1】会社名　　株式会社 リサーク

【2】代表者　　代表取締役社長　齊藤 大助

【3】所在地　　事務所　　静岡県富士市大野28-1
中間処分場　　静岡県富士市大野28-1、29

【4】資本金　　1,000万円

【5】設立年月日　　平成18年5月31日

【6】環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者　　取締役統括部長　　鈴木 伯幸
環境管理担当者

TEL　：0545-32-0111

FAX　：0545-32-1498

E-MAIL：ns-rcc@vc.tnc.ne.jp

ホームページ：http://www.recirc.net/

【7】事業内容　　【産業廃棄物の収集運搬及び中間処分業】
許可番号等については2-②「廃棄物処理業に関する情報公開項目」参照

【建設業】
許可番号：静岡県知事許可(般－30)第38166号
許可の有効期間：平成30年4月25日から令和5年4月24日まで
建設業の種類 ： とび・土工、解体工事業

【8】事業の規模

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
従業員	人	20	20	24
敷地面積	㎡	3062.14	3062.14	3062.14

各事業年度　期首5月1日　期末4月30日

【9】活動規模

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度
収集運搬量	t	7,663.52	7,774.25	7,101.56
中間処分量	t	11,237.62	9,881.38	9,576.83
工事等件数	件	565	595	850
売上高(全体)	百万円	471.4	572.7	613.5
売上高(工事等)	百万円	150.2	254.7	298.6

各事業年度　期首5月1日　期末4月30日

【10】処理料金　　廃棄物の性状、運搬方法により料金が異なりますのでご相談ください。
見積もり無料でご提出させていただきます。

2-② 廃棄物処理業に関する情報公開項目

【1】産業廃棄物収集運搬・処分取得許可

取得地域	許可番号	許可取得	許可期限	許可品目
静岡県産業廃棄物収集運搬業 優良	第02201129734号	平成18年12月7日	平成26年7月18日～令和3年7月17日	廃プラスチック類、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類、汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、石綿含有廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物
埼玉県産業廃棄物収集運搬業	第01102129734号	平成19年12月20日	平成30年1月12日～令和4年12月19日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類
神奈川県産業廃棄物収集運搬業	第01400129734号	平成26年2月18日	令和元年5月7日～令和6年2月17日	燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類(※１※２)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず(※２)、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず・陶磁器くず(※1※2)、がれき類(※１)、ばいじん ※１：石綿含有廃棄物を含む。 ※２：水銀使用製品産業廃棄物を含む。
山梨県産業廃棄物収集運搬業	第01900129734号	平成31年2月25日	平成31年2月25日～令和6年2月24日	廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず、がれき類、(石綿含有廃棄物)、(水銀使用製品産業廃棄物)

取得地域	許可番号	許可取得	許可期限	許可品目
静岡県産業廃棄物処分業 （中間処分） 優良	第02221129734	平成18年12月7日	平成26年7月28日～令和3年7月27日	廃プラスチック類、金属くず、ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類、紙くず、木くず、繊維くず、水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)

【2】施設等の状況

収集運搬車両および構内作業車両等　（積み替え保管施設無し）

車両及び重機種類	最大積載量等	台数	備考
脱着装置付ｺﾝﾃﾅ専用車	15,000kg以下	2	収集運搬許可車両
	4,000kg以下	3	収集運搬許可車両
キャブオーバー	3,000kg以下	1	収集運搬許可車両
	4,000kg以下	3	収集運搬許可車両
ダンプ	2,000kg以下	1	収集運搬許可車両
軽自動車	―	2	［産廃部門］使用営業車両
軽バン	300kg	2	［工事部門］使用営業車両
バン	1,000kg	1	［工事部門］使用営業車両
フォークリフト	2.5t	1	構内作業車両
ホイルローダ	1.3㎥	1	構内作業車両
車両系建設機械	0.45㎥	2	構内作業及び工事車両
	0.7㎥	1	構内作業車両

処 理 施 設

2021年4月30日現在

施設の種類・方式	産業廃棄物の種類	処理能力
破砕施設① シングルトルグ クラッシャ	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	197.44 t/日(8.0時間)
	がれき類	276.80 t/日(8.0時間)
破砕施設② 二軸せん断式	廃プラスチック類	4.69 t/日(8.0時間)
	金属くず	4.88 t/日(8.0時間)
	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	4.75 t/日(8.0時間)
	紙くず	3.63 t/日(8.0時間)
	木くず	4.28 t/日(8.0時間)
	繊維くず	1.66 t/日(8.0時間)
破砕施設③ 二軸せん断式	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	8.76 t/日(8.0時間)
	紙くず(廃石膏ボード)	0.68 t/日(8.0時間)
破砕施設④ 水銀捕集バグフィルター装備	廃プラスチック類 (廃蛍光管に限る)	0.03 t/日(8.0時間)
	金属くず (廃蛍光管に限る)	0.06 t/日(8.0時間)
	ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず (廃蛍光管に限る)	1.81 t/日(8.0時間)
圧縮梱包施設	廃プラスチック類	14.48 t/日(8.0時間)
	紙くず	16.59 t/日(8.0時間)

【3】処 理 実 績

2020年度収集運搬実績

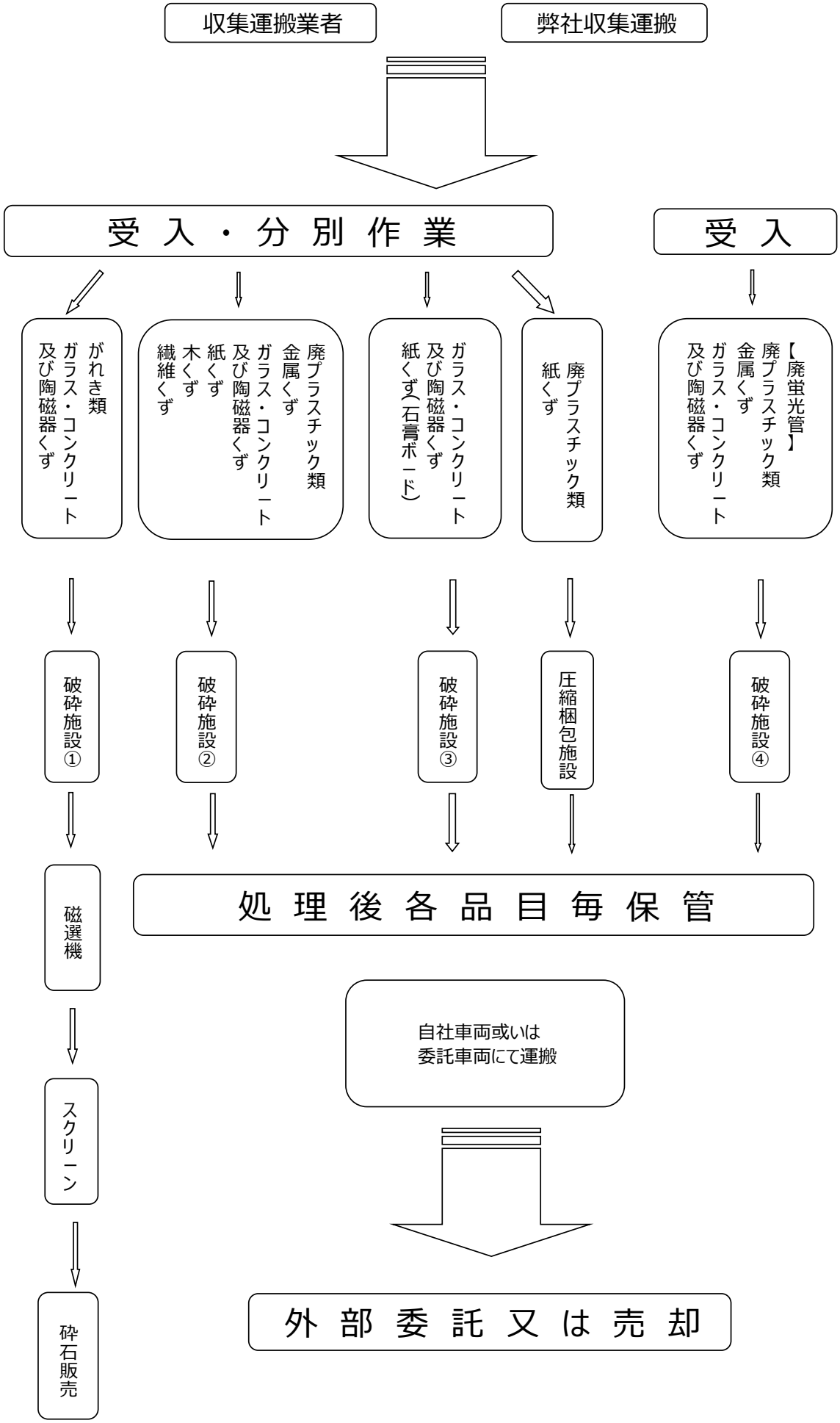
産業廃棄物の種類	収集運搬実績 （t）	
廃プラスチック類	1,434.51	
紙くず	215.82	
木くず	796.62	
繊維くず	19.71	
金属くず	120.22	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,556.95	
がれき類	1,825.79	
石膏ボード	443.35	
水銀使用製品産業廃棄物 (廃プラスチック類)	0.47	
水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず)	3.25	
水銀使用製品産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	2.94	
汚泥	635.03	
石綿含有産業廃棄物 （廃プラスチック類)	0.13	
石綿含有産業廃棄物 （ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	0.70	〈左記色付き部分のみの集計〉
石綿含有産業廃棄物 （がれき類)	46.07	681.93
合 計	7,101.56	

※色付き分は運搬業務のみの品目、⑦-1実績評価内【2】受託産業廃棄物量に含む

2020年度処理実績

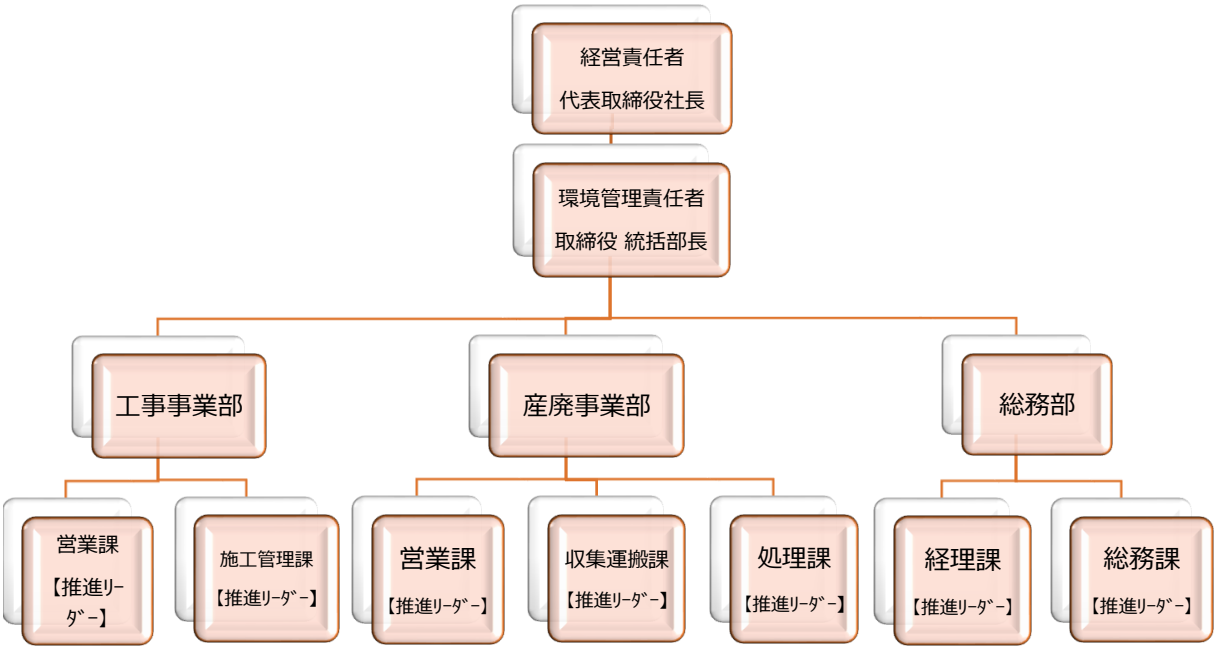
産業廃棄物の種類	処分方法	処理実績 （t）
廃プラスチック類	破砕・圧縮梱包	1,833.00
紙くず	破砕・圧縮梱包	255.93
木くず	破砕	937.82
繊維くず	破砕	23.95
金属くず	破砕	176.65
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	2,930.84
がれき類	破砕	2,800.31
石膏ボード	破砕	532.41
水銀使用製品産業廃棄物 (廃プラスチック類)	破砕	1.39
水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず)	破砕	1.04
水銀使用製品産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	破砕	1.41
	合 計	9,494.75

【4】処理工程図


収集運搬業者
弊社収集運搬
受入・分別作業
受入
がれき類
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
廃プラスチック類
金属くず
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
紙くず
木くず
繊維くず
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
紙くず(石膏ボード)
廃プラスチック類
紙くず
【廃蛍光管】
廃プラスチック類
金属くず
ガラス・コンクリート
及び陶磁器くず
破砕施設①
破砕施設②
破砕施設③
圧縮梱包施設
破砕施設④
磁選機
処理後各品目毎保管
自社車両或いは
委託車両にて運搬
スクリーン
砕石販売
外部委託又は売却

2-③ 実施体制

制定 平成21年10月1日
改定 令和2年7月24日



《環境管理組織における機能》

経営責任者
① 環境経営全般に対しての責任と権限
② 環境方針の作成と社員への周知
③ 全体の評価と見直し指示
④ 実施体制の構築
⑤ 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者
① 環境経営活動の推進
② 環境目標及び環境計画の作成
③ 環境経営推進会議の実施
④ 経営者への進捗報告

工事事業部・産廃事業部・総務部
① 環境計画の実施
② 月別部門データの集計
③ 問題点の把握と是正の実施
④ 推進会議の出席
⑤ 従業員教育

3. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

作成日： 2020年 7月 24日

課題とチャンスの整理（ＳＷＯＴ分析）

	Strengths（強み）	Weakenesses（弱み）
内部	・優良産廃業者許可の認定保持 ・工事事業部～産廃事業部への仕事一本化	・経験のある人材の確保 ・コロナ禍による新規顧客開拓 ・設備規模で競合他社に負ける設備がある ・処理困難物に対する対応不足
	Opportunities（機会）	Threat（脅威）
外部	・フロン法規制により解体工事受注時のフロン回収依頼の増加 ・地球温暖化によるフロン回収への関心の高まり ・アスベスト対策（2021年４月施工）対応	・社員の技能不足による他社との競争力低下 ・処分場の減少による処分費の高騰

環境経営方針	・新規顧客を獲得するため、フロン回収業務の登録をすることにより オゾン層保護へつながる事業展開をする。 ・SDGs（持続可能な開発目的）への取り組みを宣言
環境経営目標	・今期中にフロン回収業者の登録を行う。 ・SDGs（持続可能な開発目的）への取り組み 「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」・・・フロン回収登録取得 「海の豊かさを守ろう」・・・不法投棄やポイ捨て厳守しマイバック購入使用などの環境配慮

今後の予定	・令和2年5月～の年間予定表を作成 ・フロン回収業務登録後に実績表作成 ・自社業務のSDGs該当項目の洗い出しと周知（取引業者へ配布） ・アスベスト調査としてフロンとセットで営業強化 ・解体工事の一環とし家電の運搬（小売店）

4. 環 境 方 針

制定　平成　21年　10月　1日
改定　令和　　2年　7月　24日

株式会社リサーク　環境方針

[環境経営理念]

株式会社リサークは、産業廃棄物処理業および工事業を経営するにあたり、地球温暖化問題、資源の枯渇問題の解決に取り組むことが重要課題であることを踏まえ、自主的かつ積極的に、社員一丸となって環境に配慮した経営への取組みを推進します。

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 環境負荷低減活動の取組みを行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
   1) 電気、化石燃料、廃棄物、水の使用削減に取組みます。
   2) グリーン購入を実施します。

2. 環境関連法規制等を遵守いたします。

3. 環境に配慮した製品製造・サービス提供に取り組みます。
   1) 環境に配慮し、細かい選別により廃棄物のリサイクル率を引き上げます。
   2) フロン回収業の業務を行います。

4. 環境コミニュケーションの積極的実施を行います。
   1) 環境活動レポートの社外への公開、および産廃ネットによる情報公開を通し、利害関係者とのコミュニケーション向上に努めます。
   2) エコアクション21による環境マネジメントシステムを活用した社員教育を実施します。
   3) SDGsへの取り組みを社内外に公表します。

改定　　令 和　　2 年　7 月　24 日

株式会社　リサーク

代表取締役社長　齊藤大助

4-① フロン回収業務への取り組み

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の改正が行われ、2020年4月1日より施行されました。法改正に伴い、弊社では自社でフロン回収業務を行えるよう**第一種フロン類充填回収業者の**登録を行いました。

これにより、外部に回収依頼をしていた場合に比べ、コストを削減することが可能となり、解体工事受注の際、フロン回収を自社で行えることにより、顧客獲得の強みを図りました。

第一種フロン類充填回収業者登録通知書

環政第１－338号
令和２年12月７日

住所　静岡県富士市大野28番地の1

氏名　株式会社リサーク
代表取締役　齊藤 大助　様

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第28条第２項の規定により、第一種フロン類充填回収業者として登録したことを通知します。

静岡県知事　川勝　平太

登録番号	静岡 102377	登録年月日	令和2年12月7日（西暦2020年12月7日）		
		有効期間満了年月日	令和7年12月6日（西暦2025年12月6日）		
事業所の名称 / 事業所の所在地		特定製品の種類（注）	フロン類の種類		
			CFC	HCFC	HFC
1 株式会社リサーク		回収（1）	○	○	○
		回収（2）	○	○	○
		回収（3）	○	○	○
静岡県富士市大野28番地の1		充塡（1）	－	－	－
		充塡（2）	－	－	－

全1事業所

（注）特定製品の種類：（1）エアコンディショナー（（3）に該当するものを除く。）
（2）冷蔵機器・冷凍機器　（（3）に該当するものを除く。）
（3）フロン類の充てん量が50kg以上の第一種特定製品

4-② SDGsへの取り組み

【SDGsとは】

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。

【SDGsへの取り組み】

弊社がエコアクション21認証・登録を始めて10年が経ちました。エコアクション21への取り組みの中で、社員の環境活動に対する意識は年々高まっているのを実感しています。今後もエコアクション21認証・登録を続けていく中で、更なる取り組みへの向上を目指し、社員各々が日々の業務、生活の中でSDGsに取り組む事でより良い活動を行うことができるのではないかと考えました。第一歩として、弊社の業務がSDGsの中のどの項目に該当するかという事を認識しながら業務を行うという事から始めたいと考えています。
そのことによりSDGsをより身近に感じ、今後、自発的に他の取り組みに発展していくことを目標としています。

5-① 中期目標

《産廃事業部・総務部》

【1】リサイクル率の向上

項目	実績	単位	中期環境目標		
	2019年度(基準年度)		2020年度	2021年度	2022年度
①受託産業廃棄物(全体)の リサイクル率の向上	74.15%	%	74.25%	74.35%	74.45%
	向上		0.1%	0.2%	0.3%
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)の リサイクル率の向上	34.02%	%	34.12%	34.22%	34.32%
	向上		0.1%	0.2%	0.3%

【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量

項目	実績	単位	中期環境目標		
	2019年度(基準年度)		2020年度	2021年度	2022年度
がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	0.05077	㎥/t	0.05072	0.05070	0.05067
	削減率%		0.1%	0.15%	0.2%

【3】環境資源削減

項目	実績	単位	中期環境目標		
	2019年度(基準年度)		2020年度	2021年度	2022年度
①紙使用量削減	127.6	ｋｇ	127.0	126.8	126.7
	削減率%		0.5%	0.6%	0.7%
②事業系一般廃棄物排出量削減 ※コロナウイルス対策により増加する 傾向にある為、目標を緩和	148.9	ｋｇ	148.9	148.9	148.9
	削減率%		0.0%	0.0%	0.0%

《工事事業部》

【1】工事売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	実績	単位	中期環境目標		
	2019年度(基準年度)		2020年度	2021年度	2022年度
工事売上百万円当たりの 二酸化炭素排出量	261.75	kg-CO2/百万円	261.75	261.49	261.49
	削減率%		0.0%	0.1%	0.1%
①工事売上百万円当たりの 軽油使用量	90.92	ℓ/百万円	90.92	90.83	90.83
	削減率%		0.0%	0.1%	0.1%

【2】廃棄物削減

現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施
	・廃棄物分別方法の表示

5-② 短期目標

《産廃事業部・総務部》

【1】リサイクル率の向上

項目	実績	単位	短期環境目標
	2019年度(基準年度)		2020年度
①受託産業廃棄物(全体)の リサイクル率の向上	74.15%	%	74.25%
	向上		0.1%
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)の リサイクル率の向上	34.02%	%	34.12%
	向上		0.1%

【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量

項目	実績	単位	短期環境目標
	2019年度(基準年度)		2020年度
がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	0.05077	㎥/t	0.05072
	削減率%		0.1%

【3】環境資源削減

項目	実績	単位	短期環境目標
	2019年度(基準年度)		2020年度
①紙使用量削減	127.6	ｋｇ	127.0
	削減率%		0.5%
②事業系一般廃棄物排出量削減	148.9	ｋｇ	148.9
	削減率%		0.0%

《工事事業部》

【1】工事売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	実績	単位	短期環境目標
	2019年度(基準年度)		2020年度
工事売上百万円当たりの 二酸化炭素排出量	261.75	kg-CO2/百万円	261.75
	削減率%		0.0%
①工事売上百万円当たりの 軽油使用量	90.92	ℓ/百万円	90.92
	削減率%		0.0%

【2】廃棄物削減

現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施
	・廃棄物分別方法の表示

6. 環 境 活 動 計 画

6-① 主要な活動計画 ※は中期目標関連項目

《産廃事業部・総務部》

【1】リサイクル率の向上※

目標	SDGs	活動	担当
①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)の リサイクル率の向上	12 13 14	・リサイクルルートの確保	鈴木
		・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木
		・顧客への分別提案	鈴木
		・毎月のリサイクル率把握	鈴木

【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量※

目標	SDGs	活動	担当
水使用量の削減	12	・「節水」の表示	鈴木
		・節水こまの設置	鈴木
		・水漏れ点検の実施	鈴木

【3】環境資源削減※

目標	SDGs	活動	担当
①紙使用量削減	12 13 14 15	・コピー用紙の両面使用	岩間
		・裏紙使用の徹底	岩間
		・ペーパーレス化	岩間
②事業系一般廃棄物排出量削減		・リサイクルボックスの設置・利用	岩間

【4】二酸化炭素排出量の削減

目標		SDGs	活動	担当
二酸化炭素排出量の削減	①購入電力削減	7 13	・冷暖房管理　夏26℃　冬24℃	岩間
			・待機電力、不使用時の電源オフ	岩間
			・不要照明の消灯の徹底	岩間
			・中間処分施設設備稼働時間管理	鈴木
			・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	鈴木
	②化石燃料使用削減		・エコドライブの徹底	加藤
			・アイドリングストップ	加藤
			・効率的なルートの選択	加藤
			・燃費データの把握	加藤
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤
			・作業場重機のアイドリングストップ	山本
			・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	山本

《工事事業部》

【1】工事等現場における環境活動※

目標		SDGs	活動	担当
二酸化炭素排出量の削減	①工事売上 百万円当たりの 軽油使用量	7 13	・エコドライブの徹底	稲葉
			・アイドリングストップ	稲葉
			・効率的なルートの選択	稲葉
			・燃費データの把握	加藤
			・タイヤ空気圧の定期点検	岡田
			・作業場重機のアイドリングストップ	岡田
			・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	岡田

【２】廃棄物削減※

現場における廃棄物分別の徹底	12 14	・廃棄物分別方法の講習の実施	庄司
		・廃棄物分別方法の表示	庄司

☆事務用品等のグリーン購入は、優先的に購入しているため目標活動から外す。

6-② 2020年度 環境活動計画表

《産廃事業部・総務部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2020.5～2021.4実施スケジュール
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	12 13 14	・リサイクルルートの確保	鈴木	統括部長 処理係	
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木	統括部長 処理係	
			・顧客への分別提案	鈴木	統括部長 処理係	
			・毎月のリサイクル率把握	鈴木	統括部長 処理係	
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	12	・「節水」の表示	鈴木	全従業員	
			・節水こまの設置	鈴木	全従業員	
			・水漏れ点検の実施	鈴木	全従業員	
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	12 13 14	・コピー用紙の両面使用	岩間	全従業員	
			・裏紙使用の徹底	岩間	全従業員	進捗状況確認 / 進捗状況確認 / 進捗状況確認
			・ペーパーレス化	岩間	全従業員	
	②事業系 一般廃棄物 排出量削減	15	・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用	岩間	全従業員	
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	7 13	・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	岩間	全従業員	
			・待機電力、不使用時の 電源オフ	岩間	全従業員	
			・不要照明の消灯の徹底	岩間	全従業員	
			・中間処分施設機械 稼働時間管理	鈴木	中間 処分場 作業員	
			・二酸化炭素排出係数の低い 電力会社の選定、利用	鈴木	全従業員	
	②化石燃料削減		・エコドライブの徹底	加藤	各運転手	
			・アイドリングストップ	加藤	各運転手	
			・効率的なルートの選択	加藤	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤	各運転手	
			・作業場重機の アイドリングストップ	山本	中間 処分場 作業員	
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	山本	中間 処分場 作業員	

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2020.5～2021.4実施スケジュール
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	7 13	・エコドライブの徹底	稲葉	各運転手	
			・アイドリングストップ	稲葉	各運転手	
			・効率的なルートの選択	稲葉	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	進捗状況確認 / 進捗状況確認 / 進捗状況確認
			・タイヤ空気圧の定期点検	岡田	各運転手	
			・作業場重機の アイドリングストップ	岡田	工事事業部 及び 協力会社	
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	岡田	工事事業部 及び 協力会社	
【２】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	12 14	・廃棄物分別方法の 講習実施	庄司	工事事業部 及び 協力会社	
			・廃棄物分別方法の表示	庄司	工事事業部 及び 協力会社	

7. 環境目標(短期)の実績評価

【7-① 実績・評価　産廃事業部・総務部】

【1】リサイクル率の向上

項目	短期環境目標 2020年度	単位	実績 2020年5月～2021年4月	達成	評価
①受託産業廃棄物(全体)の リサイクル率の向上	74.25% 向上率%	%	77.67% 3.4%	○	再資源化搬出先の開拓、 および選別の徹底により目標達成できました。
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)の リサイクル率の向上	34.12% 向上率%	%	34.20% 0.1%	○	再資源化搬出先の開拓、 および選別の徹底により目標達成できました。

【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量

項目	短期環境目標 2020年度	単位	実績 2020年5月～2021年4月	達成	評価
がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	0.05072 削減率%	㎥/t	0.06735 -32.8%	×	再生砕石出荷先からの要請による散水強化、 および消火訓練実施回数増加により目標未達成でした。

是正：事業内容変更により次年度目標を見直す

【3】環境資源削減

項目	短期環境目標 2020年度	単位	実績 2020年5月～2021年4月	達成	評価
①紙使用量削減	127.0 削減率%	ｋｇ	119.8 5.6%	○	デジタル通信化の促進により目標達成できました。
②事業系一般廃棄物排出量削減	148.9 削減率%	ｋｇ	189.6 -27.3%	×	コロナ禍により、手洗い後のペーパータオル使用が増えたため 目標未達成でした。

是正：事業内容変更により次年度目標を見直す

※燃費データ

項　目	基準年度実績 2019年度	単位	実績 2020年5月～2021年4月	達成	評価
収集運搬車両(軽油)	4.72 向上率	km/ℓ	4.73 0.2%	○	基準年度より向上しました。
営業車(ｶﾞｿﾘﾝ)	19.80 向上率	km/ℓ	19.83 0.2%	○	基準年度より向上しました。
構内使用車両(軽油)	9.38 向上率	min/ℓ	9.12 -2.8%	△	基準年度より若干低下しました。 アイドリングストップ等を強化する必要性があります。
構内使用車両(A重油)	9.67 向上率	min/ℓ	9.39 -2.9%	△	基準年度より若干低下しました。 施設の老朽化によるものと思われます。

達成記号の基準　・達成から未達成1%未満は○

・未達成1%以上３%未満は△

・未達成３%以上は×

【実績データ】

【１】二酸化炭素排出量

項目	実績 2019年度(基準年度)	単位	実績 2020年5月～2021年4月	次年度目標
総排出量	254436.96		240945.98	水道水使用・事業系一般廃棄物について 目標を見直しを実施
①購入電力による二酸化炭素排出量	23336.68		29846.86	
排出係数ｻﾆｯｸｽ(2019年度) 0.706	48,517	ｋｗｈ	42,276	
②化石燃料使用による 二酸化炭素排出量	化石燃料使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO2		
排出系数	231,100.28		211,099.12	
ｶﾞｿﾘﾝ：　2.32	ｶﾞｿﾘﾝ	ℓ		
	2,599.0		2,978.52	
軽油：　2.59	軽油	ℓ		
	83,508.0		76,953.80	
A重油：　2.71	A重油	ℓ		
	3,357.0		1,906.00	

【２】受託産業廃棄物量・水使用量

項　目	基準年度実績 2019年度	単位	実績 2020年5月～2021年4月
受託産業廃棄物処理量	9,881.38	t	9,494.75
がれき処理量	5,585.55	t	5,731.15
水道水	283.60	㎥	386.00

7. 環境目標(短期)の実績評価

【7-② 実績・評価　工事事業部】

【1】工事売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2020年度		2020年5月～2021年4月		
工事売上百万円当たりの二酸化炭素排出量	261.75	kg-CO2/百万円	189.56	○	目標達成できました。
	削減率%		27.6%		
①工事売上百万円当たりの軽油使用量	90.92	ℓ/百万円	64.14	○	目標達成できました。
	削減率%		29.5%		

【2】廃棄物削減

項目	短期環境目標	達成	評価
現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施	○	現場にて講習・掲示を実施しました。
	・廃棄物分別方法の表示	○	

※燃費データ

項　目	基準年度実績	単位	実績	達成	評価
	2019年度		2020年5月～2021年4月		
工事使用車両(軽油)	6.95	km/ℓ	6.76	△	基準年度より若干低下しました。 アイドリングストップ等を強化する必要性があります。
	向上率		-2.7%		
工事使用車両(ガソリン)	13.03	km/ℓ	13.06	○	基準年度より向上しました。
	向上率		0.2%		

達成記号の基準　・達成から未達成1%未満は○

・未達成1%以上３%未満は△

・未達成３%以上は×

【実績データ】

【１】二酸化炭素排出量

項目	実績	単位	実績	次年度目標
	2019年度(基準年度)		2020年5月～2021年4月	変更なし
総排出量	66,660.59	kg-CO2	57,396.66	
化石燃料使用による二酸化炭素排出量	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	kg-CO2		
排出系数				
ガソリン：　2.32	ガソリン	ℓ		
	2,920.0		3,046.15	
軽油：　2.59	軽油	ℓ		
	23,154.0		19,458.7	

【２】工事売上データ

項　目	基準年度実績		実績
	2019年度	単位	2020年5月～2021年4月
工事売上	254.7	百万円	298.6

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容

8-①2020年度環境活動計画実施状況確認表

《産廃事業部・総務部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2020.5～2021.4
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	12 13 14	・リサイクルルートの確保	鈴木	統括部長 処理係	○
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木	統括部長 処理係	○
			・顧客への分別提案	鈴木	統括部長 処理係	○
			・毎月のリサイクル率把握	鈴木	統括部長 処理係	○
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	12	・「節水」の表示	鈴木	全従業員	○
			・節水こまの設置	鈴木	全従業員	△
			・水漏れ点検の実施	鈴木	全従業員	○
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	12 13 14	・コピー用紙の両面使用	岩間	全従業員	△
			・裏紙使用の徹底	岩間	全従業員	○
			・ペーパーレス化	岩間	全従業員	○
	②事業系 一般廃棄物 排出量削減	15	・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用	岩間	全従業員	○
【4】二酸化炭素 排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	7	・冷暖房管理 夏26℃　冬24℃	岩間	全従業員	△
			・待機電力、不使用時の 電源オフ	岩間	全従業員	○
			・不要照明の消灯の徹底	岩間	全従業員	○
			・中間処分施設機械 稼働時間管理	鈴木	中間 処分場 作業員	△
			・二酸化炭素排出係数の低い 電力会社の選定、利用	鈴木	全従業員	○
	②化石燃料削減	13	・エコドライブの徹底	加藤	各運転手	○
			・アイドリングストップ	加藤	各運転手	○
			・効率的なルートの選択	加藤	各運転手	○
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	○
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤	各運転手	○
			・作業場重機の アイドリングストップ	山本	中間 処分場 作業員	△
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	山本	中間 処分場 作業員	○

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2020.5～2021.4
【1】二酸化炭素 排出量の削減	①化石燃料削減	7 13	・エコドライブの徹底	稲葉	各運転手	△
			・アイドリングストップ	稲葉	各運転手	△
			・効率的なルートの選択	稲葉	各運転手	○
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	○
			・タイヤ空気圧の定期点検	稲葉	各運転手	○
			・作業場重機の アイドリングストップ	稲葉	解体部門 及び 協力会社	△
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	庄司	解体部門 及び 協力会社	○
【２】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	12 14	・廃棄物分別方法の 講習実施	庄司	解体部門 及び 協力会社	○
			・廃棄物分別方法の表示	庄司	解体部門 及び 協力会社	○

8-② 問題点の是正及び予防処置の結果

a）取組項目別

《産廃事業部・総務部》

環境目標	取組項目	環境活動計画	問題点	是正及び予防処置
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	・リサイクルルートの確保		統括、営業部門、解体部門による情報収集。
		・受託産業廃棄物の分別の徹底		マニュアルを運用中。
		・顧客への分別提案	分別をすることによりコンテナ個数が足りなくなる可能性がある	価格提示と同時に実施をしてコンテナの増設を経費に組込む
		・毎月のリサイクル率把握		毎月のタスクとして実施。HPにて公開中。
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	・「節水」の表示	近隣への粉塵対策のため破砕機①使用時に常時散水を行っているため、がれきの搬入量と比例して水道水使用が増加する。また近年のモバイルバッテリー火災に備えて消火訓練頻度の増加による水道水使用増加。	各水道に「節水」の表示を行った。
		・節水ごまの設置		各水道に設置済み
		・水漏れ点検の実施	チェックを忘れる日がある。	毎日の点検を固定化し、チェック漏れを無くす。
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	・コピー用紙の両面使用	両面印刷を呼びかけたが、達成には至らなかった	両面印刷可能なコピー機と片面刷りプリンターでコストに差がある為、コスト重視で片面プリンターを多用している。
		・裏紙使用の徹底		電子化を進めたことにより、紙使用の削減を行えた。
		・ペーパーレス化		
	②事業系一般廃棄物排出量削減	・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用		分別ボックス設置により、分別を徹底。
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	・冷暖房管理 夏26℃　冬24℃	コロナ対策により、窓を開放するため通年より温度調整が難しい	昨年同様にコロナ禍の為、窓を開放し換気状態でのエアコン使用を行う。エアコンが効きにくくなる為、来期も設定温度を「夏25℃」「冬23℃」とする。夏場の西日対策としてサンシェードを設置。
		・待機電力、不使用時の電源オフ	解体分門との事務所が分離したためさらに徹底をする	
		・不要照明の消灯の徹底		
		・中間処分施設機械 稼働時間管理		日報による稼働時間の記録を行っている。
		・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用		2017年度（0.481）2019年度（0.706）と係数が上がってしまっているが次年度版が出るまで様子をみる。
	②化石燃料削減	・エコドライブの徹底		昨年同様、化石燃料価格上昇などの情報を伝え、価格の安い店舗での給油を呼びかけ、燃料費削減にも取り組んだ。 給油所各社の価格を毎月掲示している。
		・アイドリングストップ		
		・効率的なルートの選択	顧客の時間指定などにより、効果的なルートを選択できない場合もある	収集運搬部門ミーティングと前日の集配段取り時にルートに関する打ち合わせを行っている。
		・燃費データの把握		燃費データを月初めに集計し回覧をしている。燃費の悪かった車両に関して、収集運搬部門ミーティングで原因の追究と対策
		・タイヤ空気圧の定期点検		定期点検とパンク修理時に確認。
		・作業場重機の アイドリングストップ		安全大会で呼びかけ、さらに朝礼等でも周知・徹底する。
		・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)		マニュアルを運用中。

《工事事業部》

環境目標	取組項目	環境活動計画	問題点	是正及び予防処置
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	・エコドライブの徹底	昨年同様、重機使用の大規模工事が増加傾向にあり、下請け業者を含めて教育の不徹底が見受けられる。	各ドライバーにアイドリングストップ等を順守してもらい、効果が出ているが、さらにアイドリングストップ等を意識し、また効率的なルート選択をしてもらい、燃費向上して二酸化炭素排出量削減に努める。
		・アイドリングストップ		
		・効率的なルートの選択		
		・燃費データの把握		
		・タイヤ空気圧の定期点検		
		・作業場重機の アイドリングストップ		
		・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)		
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施		協力会安全ミーティング時に講習会を実施する。
		・廃棄物分別方法の表示		廃棄物分別表をラミネート作成し、各現場に設置する。

b) 全 体

・大型化した圧縮設備の入替、コロナ禍による窓を開けながらのエアコン使用などにより電力量が増加したが、その他、日常節電において取組みは徹底されている。
・その他項目においても昨年同様に、環境活動意識は社内全体で高まっている。必要消費が増えている現状だが、費用対効果を検討し最善の選択を取っていきたい。
・SGDsを公表する事により、世界基準として世の中の一員として活動する意欲をさらに持ってもらうため教育を進めていきたい。
・がれき処理量が増加して水使用量が増えているが、火災対策による消火訓練用の水の使用のための増加が大きい。ただし火災予防のためにはやもえない部分ですのでその他の節水を確実に

8-③ 2021年度 環境活動計画表

《産廃事業部・総務部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2021.5～2022.4実施スケジュール
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	12 13 14	・リサイクルルートの確保	鈴木	統括部長 工事事業部	
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	鈴木	統括部長 処理係	
			・顧客への分別提案	鈴木	統括部長 処理係	
			・毎月のリサイクル率把握	鈴木	統括部長 処理係	
【2】がれき類処理1ｔ当たりの水道水使用量	水使用量の削減	12	・「節水」の表示	鈴木	全従業員	
			・節水こまの設置	鈴木	全従業員	
			・水漏れ点検の実施	鈴木	全従業員	
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	12 13 14	・コピー用紙の両面使用	井出	全従業員	
			・裏紙使用の徹底	井出	全従業員	進捗状況確認 / 進捗状況確認 / 進捗状況確認
			・ペーパーレス化	井出	全従業員	
	②事業系一般廃棄物排出量削減	15	・ﾘｻｲｸﾙﾎﾞｯｸｽの設置・利用	井出	全従業員	
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	7	・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	鈴木	全従業員	
			・待機電力、不使用時の電源オフ	岩間	全従業員	
			・不要照明の消灯の徹底	岩間	全従業員	
			・中間処分施設機械稼働時間管理	鈴木	中間処分場作業員	
			・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	鈴木	全従業員	
	②化石燃料削減	13	・エコドライブの徹底	加藤	各運転手	
			・アイドリングストップ	加藤	各運転手	
			・効率的なルートの選択	加藤	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	
			・タイヤ空気圧の定期点検	加藤	各運転手	
			・作業場重機のアイドリングストップ	山本	中間処分場作業員	
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	山本	中間処分場作業員	

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	担当者	実行者	2021.5～2022.4実施スケジュール
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	7 13	・エコドライブの徹底	稲葉	各運転手	
			・アイドリングストップ	稲葉	各運転手	
			・効率的なルートの選択	稲葉	各運転手	
			・燃費データの把握	加藤	各運転手	進捗状況確認 / 進捗状況確認 / 進捗状況確認
			・タイヤ空気圧の定期点検	岡田	各運転手	
			・作業場重機のアイドリングストップ	岡田	工事事業部及び協力会社	
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	岡田	工事事業部及び協力会社	
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	12 14	・廃棄物分別方法の講習実施	庄司	工事事業部及び協力会社	
			・廃棄物分別方法の表示	庄司	工事事業部及び協力会社	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価及び違反、訴訟等の有無

作成日： 2021年 4月 30日

① 環境関連法規等の遵守状況の確認

毎年3月末に対象法規制を見直す

廃棄物の収集運搬 ・ 処理 ・ リサイクル法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認				
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業（届出は各県知事）		各許可証通り	処理基準遵守	○		8/20	12/10	4/30
				契約書の締結	○		8/20	12/10	4/30
				ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認処理	○	Ｂ2票を10日以内に排出事業者に送付	8/20	12/10	4/30
				年間報告	○	毎年6月までに前年分の報告をする	4/30に提出		
				マニフェストの保管	○	Ｂ1票、Ｃ2票の5年間の保管、帳簿ﾃﾞｰﾀの保管	8/20	12/10	4/30
				許可の更新	○	5年毎の更新 更新前の法定講習の実施	8/20	12/10	4/30
				変更時の届出	○		8/20	12/10	4/30
				変更時の届出	○		2020/20	12/10	4/30
	産業廃棄物処分業（届出は静岡県知事）		許可証通り	処理基準遵守	○	年間報告から処理能力範囲内であることの確認	毎月照合		
				契約書の締結	○	マニフェストから契約書の照合確認	8/20	12/10	4/30
				ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認処理	○	運搬受託者へ10日以内にＣ2票の返却、排出事業者へＤ票を90日以内に返却、Ｅ票を180日以内に返却	8/20	12/10	4/30
				年間報告	○	毎年6月中に前年分の報告をする	4/30に提出		
				マニフェストの保管	○	Ｃ1票の5年間の保管、帳簿データの保管	8/20	12/10	4/30
				許可更新	○	5年毎に更新 更新前の法定講習の実施	8/20	12/10	4/30
				変更時の届出	○	変更届の確認	8/20	12/10	4/30
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例【条例第10号】	産業廃棄物処理の委託先の実地確認、記録、保存	静岡県の排出事業者	静岡県の排出事業者	委託契約締結前の受託業者への実地確認	○	確認の結果を記録	8/20	12/10	4/30
				契約後、毎年1回以上の処理状況の確認	○	確認の結果を記録	8/20	12/10	4/30
				処分場視察記録の保存	○	5年間の保存	8/20	12/10	4/30
				排出事業者の実地確認の受入	○	排出事業者の実地確認受入の記録	8/20	12/10	4/30
産業廃棄物管理票《マニフェスト》の交付状況報告	産業廃棄物収集運搬業・処分業（届出は県知事又は市長）	マニフェスト発行業者		年間報告	○	毎年6月30日までに前年分の報告をする	4/30に提出		
家電リサイクル法		特定家庭用機器	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機以上 4種類	家電ﾘｻｲｸﾙ券購入後小売店へ排出	○	伝票の管理	8/20	12/10	4/30

公害 ・ 環境法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認				
水質汚濁防止法	産業廃棄物の中間処理	油水分離槽		基準値遵守	○	水質汚濁に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ計測をする	8/20	12/10	4/30
騒音規制法	産業廃棄物の中間処理	破砕施設	基準値 55ﾃﾞｼﾍﾞﾙ以下	基準値遵守	○	騒音に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/20	12/10	4/30
振動規制法	産業廃棄物の中間処理	破砕施設	基準値 65ﾃﾞｼﾍﾞﾙ以下	基準値遵守	○	振動に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/20	12/10	4/30
浄化槽法	産業廃棄物の中間処理	分離接触バッキ浄化槽	基準値遵守	基準値遵守	○	3ヶ月1回 保守点検 1回/年　清掃 特定業者作業 維持管理表を保管	8/20	12/10	4/30
悪臭防止法	産業廃棄物の中間処理	中間処理施設	基準値遵守	基準値遵守	○	臭いに関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/20	12/10	4/30
フロン排出抑制法	産業廃棄物の中間処理	車両建設機械業務用エアコン	機器点検の実施	点検記録の保存	○	3ヶ月に1回以上の点検実施。点検記録簿の保存。	8/20	12/10	4/30
フロン排出抑制法	第一種フロン充填回収登録業者	CFC,HCFC,HFC	機器点検の実施	取引証明書の交付・保存	○	取引証明書確認			4/30
廃棄物処理法（水銀使用製品廃棄物）	産業廃棄物の収集運搬・中間処理	収集運搬車両 中間処理施設	水銀使用製品 産業廃棄物	ガイドラインの遵守	○	ﾏﾆﾌｪｽﾄの確認処理	8/20	12/10	4/30
建築物石綿含有建材調査者	各解体現場	各解体現場	石綿含有建材	基準値遵守	○	元受けへ調査票提出			4/30
ＮＯx・PM法	産業廃棄物の収集運搬・	収集運搬車両	車種規制対策地域	運搬車両登録	○	車検証・車両一覧	8/20	12/10	4/30

その他関連法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	確認				
建設リサイクル法	建築物等の解体 届出は各市町村	一定規模以上の建築物等に関する建設工事		特定建設資材を分別解体等により現場で分別する	○	届出書類 控えの保管	8/20	12/10	4/30
騒音規制法	建設作業 届出は各市町村	道府県知事が指定する規制地域で特定建設作業を行う場合	85デシベル以上の騒音を発生する特定建設作業	日曜・休日に作業を行わない、近隣に十分な説明を行う。	○	現時点で該当工事無	8/20	12/10	4/30

その他関連法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実　施		文書 ・ 記録（例）【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	確認				
道路運送車両法	収集運搬車両等の点検メンテナンス		法定点検 6ヶ月点検 12ヶ月点検 24ヶ月点検	点検記録票の保管	○	3年間の保管	8/20	12/10	4/30
労働安全衛生法	車両建設機械、リフト等の点検メンテナンス		法定点検 始業検査 月次検査 年次検査	始業前点検簿の記入	○	日々の始業前に記入 3年間の保管	8/20	12/10	4/30
				点検記録票の保管	○	3年間の保管	8/20	12/10	4/30

② 環境関連法規等の遵守状況の評価

関連法規等の遵守状況の評価の結果、法規制等の逸脱は有りませんでした。

③ 違反、訴訟等の有無

過去3年間にわたって違反や訴訟はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し指示

《 適切性、妥当性、有効性の評価 》　　実施 2021 年 5 月 10 日

	環境管理者よりの報告内容・提案	代表者からの指示事項
環境経営システム有効性評価	取組状況の評価結果 ① 環境関連法規制遵守状況 2021年4月30日遵守状況確認 確認結果：遵守されている ② 是正処置・予防処置◯有 ・ 無 ③ 各部門取組状況 各部門計画通り	① 法規制の遵守を評価し、今後も確認を怠らないこと。 ② 各担当者に是正措置・予防措置の周知徹底をさせるため、毎月開催される各部署の会議にて各月の達成状況の報告と未達成の場合の是正事項を確認すること。 ③ 毎月開催される幹部会にて、各部門の責任者が取組状況を報告し、改善事項等があれば、各部門担当者に指示すること。
取組の適正の評価	目標・活動計画の達成状況 ・目標達成状況の報告 一部環境目標未達成 ・活動計画の達成状況 概ね達成	産廃事業部・総務部においては、事業系一般廃棄物の排出量が目標をオーバーしているが、コロナ感染防止の観点から今年度は仕方ないと結論できる。感染終結時に目標を再設定すること。 また、水道水使用量についても目標未達成だが、これは再生砕石出荷先からの粉塵対策としての要請に応えたものであるから仕方ないものと結論できる。2020年度の数値を2021年度の目標値として再設定すること。 工事事業部においては、すべての項目において目標をほぼ達成できて素晴らしいことである。引き続き、この努力を続けること。 引続き、計画達成に向けて努力すること。
外部環境変化への対応	法規制の改正対応および その他要求事項対応・他	新型コロナウイルス感染防止のための換気の徹底等により、空調機の使用が非常に増えるなど、環境と感染防止対策のバランスを取らざる得ない。社員の健康・安全を第一に、バランスの取れた対応をすること。

代表者による指示

・再生砕石出荷先の要請やコロナ感染防止対策等の外部要因により、やむを得ず環境に負荷がかかる現象が引き起こされたが、これは出荷先の公害防止や社員の健康・安全確保等、必要不可欠のことと言える。それ以外の環境保全への取り組みのマネジメントは引き続き維持されており、社員全員の協力に感謝したい。
今年度も引き続き、同様以上の協力をお願いしたい。
・環境方針、計画、実施体制に変更なし。　目標（水道水の使用、事業系一般廃棄物）は見直し実施すること。

※ 代表者による全体の評価と定期的な見直しは毎年5月に実施する。

11. 地域貢献奉仕活動の記録

実施日　　2021年4月11日　前面公道法面の草刈
及び作業内容　　2021年4月16日　前面公道の清掃

参加者及び役割

作業指示者　　鈴木　伯幸

作業者　　①加藤　尊広　　②山本　勇人　　③鈴木　拓也
④鈴木　雅之　　⑤鈴木　清真　　④宮里　英志

作業風景　　＜草刈＞

［作業前］

［作業中］

［作業後］

＜道路清掃＞

コメント

地域貢献奉仕作業として、毎年恒例の工場付近の公道の清掃作業と、工場前の公道(法面)の除草作業を行いました。視界が良くなり安全性も向上したと思います。

12. グリーン購入推進

2021年２月に排ガスレベル平成28年制適合車に入替を行いました。

運搬車の排出ガスレベル	台数	割合（%）
全保有台数	11	100%
①平成17年規制適合車	2	18%
②平成19年規制適合車	1	9%
③平成21年規制適合車	1	9%
④平成22年規制適合車	3	27%
⑤平成28年規制適合車	4	36%

目標	④+⑤適合車割合	70%以上

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合（%）
全保有台数	11	100
①平成17年度燃費基準達成車	0	0
②平成22年度燃費基準達成車	0	0
③平成27年度燃費基準達成車	9	82%

目標	③適合車割合	90%以上